

編集・発行 海老名市役所 市長室  
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎046(231)2111(代) ☎046(233)9118  
URL http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。  
☎同センター ☎292・0303

### 世帯と人口

(10月1日現在)  
世帯 47,850  
人口 124,467人  
男 63,388人  
女 61,079人

☎ 行政経営課  
(☎235・4698=直通)

# 広報えびな

## 市制35周年 海老名のこれから

### 未来見据えた施策でさらなる発展へ

海老名市は、今年で市制施行35周年を迎えます。大きな変化と発展を続けた35年間。わたしたちを取り巻く社会情勢は大きく変わり、海老名市は、その変化に対応してきました。そして現在、住みたい・住み続けたいまちづくりのため、海老名市は、将来を見据えた新しい事業を展開し、さらなる発展を遂げようとしています。今回は、現在市内で進められている事業とともに、「これからの海老名」について紹介します。



▲海老名駅自由通路(小田急・相鉄駅舎部)完成イメージ



▲排出ガスを抑える低公害車で、乗り降りしやすいノンステップバス

#### コミュニティバス

##### 南部地域への運行も計画

市内の公共交通不便地域の解消を目的に、平成17年4月1日から国分地域でコミュニティバスを本格運行しています。また今年10月1日には、上今泉地域への試験運行を開始しました。試験運行期間は平成20年9月30日までの2年間で、その間の利用状況や利用者の意見を取り入れて、本格運行の検討を進めていきます。また、19年度後半の実施を目標に、南部地域への試験運行も計画しており、その具体策を検討しています。

#### 海老名駅自由通路整備

##### 平成22年度完成を目標

海老名駅の乗り換え利便性の向上や、交通結節点機能の強化を図るため、自由通路の整備事業を進めており、すでに「東口駅広部」と「中央三丁目方面」の通路は、多くのみなさんに利用されています。現在は、海老名駅周辺の円滑な歩行者の流れを確保するため、小田急・相鉄駅舎部の自由通路

整備を、平成22年度完成を目標に進めています。バリアフリー対策など、すべての人が安心して利用できる新しい「市の玄関口」を目指します。

#### さがみ縦貫道路整備

##### 交通の円滑化に向けて

国の事業である圏央道(さがみ縦貫道路)の整備により、市内では海老名北インターチェンジから海老名北ジャンクション間は平成21年度、海老名北インターチェンジから相模原インターチェンジ(相模原市)間、海老名北ジャンクションから西久保ジャンクション(茅ヶ崎市)間は平成22年度の開通を目標に、現在工事が進められています。これにより、相模大橋や戸沢橋を通過して東名高速道路・厚木インターチェンジへ流れていた車は、海老名から乗り入れが可能となります。開通に伴い増加する交通量は、整備中の河原口中新田線や下今泉門沢橋線、中新田鍛冶返線など、市内の都市計画道路へと分散されます。

市の交通網を整備することで、慢性的な交通渋滞の解消や高速道路へのアクセス向



▲海老名運動公園付近の海老名北ジャンクション整備状況

#### 第四次総合計画の策定

##### 新しいまちづくりの実現へ

総合的・計画的な行政運営の指針となる「第四次総合計画」の策定を開始し、平成20年度からの新しい計画体系に移行する準備を進めています。策定にあたり、これまでの市内の各地域で地域部会を開催し、地域別の課題などを検討しています。その中で、防犯・防災対策、教育や福祉、道路・公園整備などまちづくりに関することなど、さまざまな課題が出てきました。これらを把握した上で対応方策等を検討し、新たな総合計画へ組み入れていくことで、新しいまちづくりを目指します。今後も地域部会での意見交換を重ねていきますので、みなさんの積極的なご意見をお待ちしています。



▲さがみ縦貫道路の計画路線図

☎ コミュニティバス=都市計画課(☎235・9391)、海老名駅自由通路整備=駅周辺対策課(☎235・9676)、さがみ縦貫道路整備=国県対策課(☎235・9601)、第四次総合計画=企画政策課(☎235・4634)。